

全国協議会 ニュース

2008年10月1日発行
第196号

発行所
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク
推進連絡協議会
〒160-0005 東京都
新宿区愛住町23-1
Woody21-9階
TEL.(03)3356-8217
FAX.(03)3356-8637
発行責任者:中野勝博
http://www.marow.or.jp/
E-mail:office@marow.or.jp

郵便振替口座
00150-4-15754
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655

平成21年度予算概算要求速報

8月末に、厚生労働省より財務省に対し、平成21年度予算の概算要求が示されました。骨髄移植対策費用の総額は12億4千9百万円で、20年度予算に対し7千5百万円、率にすると6・4%の上積みとなっています。

骨髄移植対策事業費(骨髄移植推進財団分)は1千1百万円余りの増額で、2・2%の上積みです。その内訳を別表に示しましたが、あつせん業務関係事業費と運営管理経費は今年度予算と同額、普及啓発事業費は微減、あつせん事業体制整備費のみ、倍増に近い伸びを示しています。この伸びしろは、新規事業3項目分に相当するようです。米国などではすでに一般的になっている非血縁者間末梢血幹細胞移植の導入に向けた動きが、今回の予算化で今後加速するものと思われまます。

気になるのは普及啓発事業費です。およそ10万円の減で、率にすればわずかに0・1%ですが、この数字の持つ意味は大きいのではないのでしょうか。これだけを見ると、「今まで以上の普及啓発事業は必要なし」と受け取られかねません。しかし実際には、普及啓発事業費という枠では額の大きな変化は無いにもかかわらず、その中に骨髄バンクドナー募集広告経費が、1千1百万円規模で新規に組まれているのです。これは、従来の普及啓発事業費のうち、ほぼ同額が削られたことを意味します。より具体的に言えば、この夏まで行われていた公共広告機構(A.C.)の広告制作費用についての財団負担分が、そのままそっくり予算費目名を

更けて計上されたと考えられます。テレビ・新聞・雑誌等で頻繁に見かける骨髄バンクの広告は、その大半がA.C.に依存していたと考えられますが、「あれは無料で、A.C.のご好意で製作・使用されていた」と誤解されている方も多いためではないでしょうか。広告の露出頻度や効果を考えれば、相当廉価であったものと思われまます。実際には1千万円規模の経費を財団が負担していたわけですから、財団のマンスリーレポート9月号によれば、今回要求した広告経費で、全国の自動車運転教習所と羽田空港に設置された大型ビジョンに、骨髄バンクの広報映像を流すのぞうです。A.C.のコストパフォーマンスに負けないくらい効果を実感したいと思われまます。

骨髄データバンク登録費(日本赤十字社分)についてみると、約6千4百50万円、対前年比で9・1%の増額ですが、これはすべてHLA検査費用へのの上積みです。今後の新規ドナー登録者と、既登録ドナー候補者の確認検査におけるC座検査費用のようです。2005年2月以前の登録者のリタイピングに関しては一顧だにされていないようで、ここ3年ほどの間に登録された方が優先的に、そして過去にドナー候補にあがった方が繰り返して候補にあがる傾向は、当然のあいだ続くものと思われまます。

参考までにさい帯血移植対策費用をみると、20年度予算に対して6千3百万円の増額、率にして9・9%の上積みです。さい帯血移植対策事業費はその全てが日本赤十字社分であり、日本赤十字社

	概算要求額	20年度予算額
I. 骨髄移植対策	総額 1,249百万円	(1,174百万円)
<概要>		
(1)骨髄移植対策事業費(骨髄移植推進財団)	473,971千円	(463,857千円)
・あつせん業務関係事業費	351,452千円	(351,452千円)
・あつせん事業体制整備費	23,152千円	(12,931千円)
新:骨髄連絡調整者(専任コーディネーター)研修費	1,458千円	(0円)
新:非血縁者間末梢血幹細胞移植の導入に関する検討委員会経費	913千円	(0円)
新:HLA照合サービスシステム再構築経費	7,851千円	(0円)
・普及啓発事業	94,860千円	(94,967千円)
新:骨髄バンクドナー募集広告経費	11,204千円	(0円)
・運営管理費等経費	4,507千円	(4,507千円)
(2)骨髄データバンク登録費(日本赤十字社)	774,976千円	(710,401千円)
改:HLA(A座、B座、C座、DR座)検査費	538,125千円	(473,550千円)
(3)医療提供体制施設整備交付金保健医療提供体制整備交付金(医政局指導課計上)(特殊病室施設)		
II. さい帯血移植対策	総額 697百万円	(634百万円)
<概要>		
(1)さい帯血移植対策事業費(日本赤十字社)	696,841千円	(633,288千円)
・さい帯血保存管理業務費	656,744千円	(593,196千円)
新:さい帯血品質管理料経費	63,548千円	(0円)
・さい帯血情報管理経費	35,335千円	(35,330千円)
・日本さい帯血バンクネットワーク運営会議費	4,762千円	(4,762千円)
(2)保健衛生施設等設備整備費(健康局総務課計上)(さい帯血バンク設備)		

は骨髄移植分とさい帯血移植分をあわせて、1億2千7百万円超の増額となっています。これらの数字の推移も、造血細胞移植医療システムの将来像を描く際のひとつのパロメーターになるのかも知れません。

9月21日、骨髄移植推進財団主催の骨髄バンク推進全国大会が、骨髄バンク発祥の地である愛知県名古屋市中電ホールで開催されました。

今年の大会は、1月にドナー登録者が30万人を超え骨髄移植累計が1万件に到達することが見込まれるという状況の中、10月の骨髄移植推進月間に先立って開催されたもので、当協議会や中部地区のボランティア団体等による実行委員会の準備を進めてきたもので、式典では、来賓挨拶の中で日本赤十字社から9月4日に判明した本来検査対象とすべきドナーが検査対象となつていなかった事件について、システムの見直しを含めデータ事故再発防止の決意が明らかにされました。

続いて行われた大会イベントではNCA Gosperアンサンブルによるオープニングに続きトークショーが行われ、移植を受けた元患者さん、ドナーを待つ患者さん、提供経験者、普及啓発活動に取り組む高校生・大学生など多くの方がステージに上がり、様々な立場から「私にとって骨髄バンクとは」について熱いトークが展開されました。

また、展示コーナーでは、当協議会の取り組みや中部地区のボランティア団体の活動状況、造血細胞移植学会による末梢血幹細胞移植の成績に関するデータ等が展示されました。

9月21日に名古屋で開催された骨髄移植推進財団主催の全国大会のイベントで、「少なからず驚かされるシーン」が展開されました。ステージに上がった橋本和浩氏と田中重勝氏のお二人が、直接の提供関係にあるペア(橋本氏への骨髄提供者が田中氏)として紹介されたのです。

実はこのお二人は、1997年に当協議会が開催した「はじめましてもう一人の私」というイベントで偶発的に直接の対面を果たしたペアで、その後もNHKプロジェクトXや各種のイベントで何度も直接の提供ペアとして紹介されてきたのですが、財団は現在までこのお二人が直接の提供関係にあることを認めてきませんでした。

「財団 対面を公認?」
「日本初の対面実現ペアを公式に紹介」

したがって、今回、当の財団が主催する行事で、公式に直接の提供関係にあるペアとして紹介されたことには少なからず驚かされるものがありました。

今回の「事件」は、しばらく鳴りをひそめていた対面の議論に一石を投じることになるかもしれせん。



2008年度賛助会員(8月23日~9月20日)

- 熊谷西ロータリークラブ
- 尾西ライオンズクラブ
- 西那須野ライオンズクラブ
- 野田あや子 (敬称略)

全国協議会の活動にご賛同頂き、誠にありがとうございました。引き続き、企業・団体のほか、個人の皆様からのご協力も募っております。どうぞよろしくお願ひいたします。

団体(法人) 年会費 1口5000円
個人会員 年会費 1口2000円
※お申し込みは全国協議会事務局までお願いいたします。

「日本赤コンピュタシステムの不具合でコイデネット検索対象からはずれる事態発生」

昨年11月、日赤における登録保留ドナーの保留解除漏れが発生したのは記憶に新しいところです。その後、日赤と財団とで相互のデータの整合性を確認するためのプログラム構築が行われ、今年8月から検証作業が行われました。今回その過程で、コイデネットが終了し、本来なら財団のコイデネット結果入力により、日赤でシステム管理している患者と登録ドナーのペア情報が解除されることになりました。

今回の「事件」は、しばらく鳴りをひそめていた対面の議論に一石を投じることになるかもしれせん。

「野田バンク議連会長の岐阜事務所を訪問」

9月20日、岐阜市内の野田聖子衆議院議員の地元事務所を、大谷会長と共に中野理事長、菅・遠山副理事長で訪問しました。当初は地元入りされてはいるのですが、事故米騒動で太田農水大臣が前日に辞職したこともあり、現在、消費者行政推進担当大臣として活躍されるお立場でもあり、小椋山秘書にご対応頂きました。

骨髄バンク議員連盟会長としての日頃からのご尽力に謝意を表すと共に、昨年、将来像検討会議にて造血細胞移植医療の将来ビジョンを全国協議会独自にまとめたことを報告し、今後の改革に向けた私どもの取り組みへのさらなる協力をお願いしてまいりました。



さい帯血バンク推進全国大会報告

9月21日、名鉄グランドホテル(名古屋)での全国大会に出席してきました。第一部のご挨拶の後、さい帯血バンクの現状報告がありました。また4つのさい帯血バンクから、実際の活動内容が写真やデータを使って紹介されました。

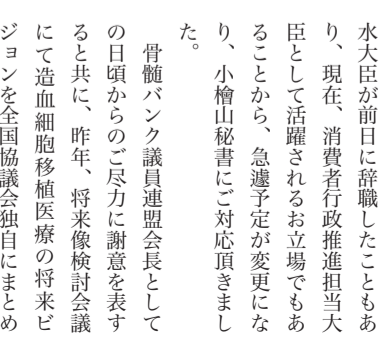
第二部の特別講演ではニューヨーク血液センターの高橋恒夫先生より「秘められたさい帯血のバワーと可能性」と題して、さい帯血の限らないパワーについてお話頂きました。

全世界の国際品質基準に適合した20万円のさい帯血は、血液難病治療のための移植だけでなく、先天性の病気の治療にも広く利用され始めています。心筋梗塞やパーキンソン病、アルツハイマー病、末梢循環障害の治療にも使われると聞き、とても驚きました。更に胎盤の絨毛細胞などもこれから広く活用出来る可能性が在ることも知りました。

第三部で、移植を受けた患者さんといさい帯血提供者、スタッフの方が出演した、「いのちのきずな」というシンポジウムから、さい帯血バンクが関わった感動の物語を聞き、心が温かくなりました。スタッフの皆様、ご苦労さまでした。(東京の会 若木)

9月20日、岐阜市内の野田聖子衆議院議員の地元事務所を、大谷会長と共に中野理事長、菅・遠山副理事長で訪問しました。当初は地元入りされてはいるのですが、事故米騒動で太田農水大臣が前日に辞職したこともあり、現在、消費者行政推進担当大臣として活躍されるお立場でもあり、小椋山秘書にご対応頂きました。

骨髄バンク議員連盟会長としての日頃からのご尽力に謝意を表すと共に、昨年、将来像検討会議にて造血細胞移植医療の将来ビジョンを全国協議会独自にまとめたことを報告し、今後の改革に向けた私どもの取り組みへのさらなる協力をお願いしてまいりました。



東京と大阪で大谷。パワー炸裂！ かざか証券講演会

9月初旬、東西の2箇所をかざか証券主催「生きてるってシアワセ！」と題した大谷貴子会長の特別講演会が開催されました。

東京は9月2日、大手町サンケイプラザで行われ、202名の来場者がありました。減多に首都圏での講演会が行われないこともあり、一般来場者やかざか証券の新人社員や来年度の入社予定者に交じり、首都圏在住の患者・ドナー家族、ドナー経験者、ボランティア等々多彩な顔ぶれが集まりました。

発病当初、ドナー候補者の一人だった、大谷会長の姉・睦子さんが当時は妊娠中、お腹の子どもの命と大谷会長の命との選択を求められたくは、胸につまるものがありました。

講演で行われ109名の方にお越しいただきました。大阪では、まずDVDで発病から骨髄バンク設立運動に至った経緯が放映され、東京とはまた違った手法での講演会となりました。

大阪で生まれ育ったということもあり、軽快な関西弁トークで笑いあり涙ありの体験を語る大谷会長は、普段よりも更にいきいきと見えました。来場者にもそれが伝わったのか、誰一人席を立つことなく、最後は大きな拍手に包まれました。

本特別講演会は年に4回、個人向あり、軽快な関西弁トークで笑いあり涙ありの体験を語る大谷会長は、普段よりも更にいきいきと見えました。来場者にもそれが伝わったのか、誰一人席を立つことなく、最後は大きな拍手に包まれました。



各地ののり 各地のたより お寄せください。

後半はインタビュー形式で元患者家族やドナー家族の思いが語られたり、ドナーによる経験談も披露され、様々な角度で骨髄バンクについて知って頂く、良い機会になったのではないかと思います。

8月23日、新潟県上越市のショッピングセンター「ジャスコ・アコーレ」で、県主催の登録会が行われました。上越で登録会を行うとき、小学生から大学生までチラシ配りのボランティアに来てくれます。この日は、地元の盛大なお祭り(昨年の大河ドラマで上杉謙信役を演じたGakkoさんが武者行列に参加)が実施され、学生の参加は21名といつもと比べて少なめでしたが、皆さん元気に骨髄バンクへの協力を呼びかけてくれました。おかげさまで31名が登録していただきました。

このように新しい形での協力の機会を頂いたかざか証券の皆様には深く感謝申し上げます。

本紙が発行される頃には、残念ながら国債申込期間は終了しておりますが、一人でも多くの方々に、今回の講演を通じて、私達の活動をご理解いただけたらと願います。

直江津中学校 大滝梨央
私はこのボランティアをして、「ボランティアっていいな」と思いました。前から、テレビで「骨髄バンク」のことを聞いていて、少し興味を持っていました。そんな時、このボランティア活動があったので、この体験をしました。

はじめは、人の目を気にして、あまり呼びかけができませんでした。慣れてくると大きな声で呼びかけられるようになりました。

「今の私には、大きな声で呼びかけることしかできない」と思いますが、一人でも多くの方が助かるといふなと思います。

愛知 明日が来ることの幸せ
文化祭でMAMO展
9月13日、愛知県の光ヶ丘女子高等学校の文化祭で「MAMOのメッセージ展」を開催しました。私たちが考えたこの企画のテーマは、「私たちは明日が来ることを当たり前だと思わないでほしい」ということでした。

栃木 チャリティイベント
カッペロックフェスティバル
9月14日、大平町かしの里、野外ステージにおいて、第5回カッペロックフェスティバルが開催されました。このイベントは毎年開催されているライブイベントで、ロック、ジャズ、レゲエ、和太鼓、etc、多彩なジャンルの方々がステージを繰り広げるとても面白いイベントです。今年も総勢14組が参加し、暑い最中の暑いライブとなりました。今年から2年前の第3回目の時にイベントの主催者さんが「利益の一部を骨髄バンク事業に寄付したい」との事でこのイベントとの繋がりが出来



新潟 中学生の大きな力
元気に登録呼びかけ
8月23日、新潟県上越市のショッピングセンター「ジャスコ・アコーレ」で、県主催の登録会が行われました。上越で登録会を行うとき、小学生から大学生までチラシ配りのボランティアに来てくれます。この日は、地元の盛大なお祭り(昨年の大河ドラマで上杉謙信役を演じたGakkoさんが武者行列に参加)が実施され、学生の参加は21名といつもと比べて少なめでしたが、皆さん元気に骨髄バンクへの協力を呼びかけてくれました。おかげさまで31名が登録していただきました。



福岡 花言葉は威厳 純潔 無垢
チャリティイベント
まだ残暑が厳しい9月5日、空閑ゆき子さんのコンサートがホテルモントレ「ラ・スール福岡」で開催されました。

富山 れれちゃんのチャカラ!!
このたび、富山でのドナー登録会七つ道具に、新たな戦力が加わりました。その名は「れれちゃん立札」!!
これまでも、逆V字二つ折り看板(床置き型)があったのですが、県の医療課さんが、少ない予算の中でまたまた頑張つて作って下さいました。床置き看板と比較して、立て札の決定的な利点は何か。まず、省スペースであること。空間が効率よく使えます。そして、大人の目線の高さでアピールできること。床置き看板は、ちょうど小さなお子さんの目線の高さだったので、ショッピングセンター内を歩き交う人々の視線を見回しながら歩いています。その目線をささげよう、ととても可愛い、すこぶる目立つ、美しくも派手なイラストの看板があれば、その効果のほどについては、いずれ、また!

骨髄バンクの最新情報をお知らせする
骨髄バンクNOW
(財団マンスリーレポート(9月15日発行)より抜粋)
●10月は「骨髄バンク推進週間」
10月は「骨髄バンク推進週間」です。骨髄移植を待つ患者さんのため、国民の皆様へ骨髄移植に関する正しい知識を持っていただき、一人でも多くの方にドナー登録をしていただけるよう、関係者の協力を得て全国各地でドナー登録会等の骨髄バンク推進キャンペーン行事が行われます。
●関連情報
●厚生労働省の広報誌「厚生労働」の10月号に骨髄移植に関する記事が掲載されます。骨髄移植の必要性とともに骨髄バンク事業の推進が呼びかけられています。
●秋田テレビでは、骨髄バンクのスポットCMを制作・放映していただいておりますが、骨髄バンク推進週間の期間中(10月1日~31日)、以下の東京、千葉の大型ビジョンでも放映させていただきます。

●10月の「骨髄バンク推進週間」
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会

●日本骨髄バンクの現状(平成20年8月末現在)

	7月	8月	現在数	累計数
ドナー登録者数	702	2,617	317,030	401,743
患者登録者数	209	234	2,666	25,766
骨髄移植例数	95	77	-	9,674
20歳未満ドナー	-	125	8,181* 1</td <td>-</td>	-
51歳以上ドナー	198**	78**	11,927**	-

注) 数値は速報値のため次月以降に訂正されることがあります。
*1) 17年3月~ *2) 51歳以上ドナーの延長数
*3) 51歳以上ドナーの新規登録数 *4) 17年9月~

心からのご寄付に 感謝申し上げます

8月23日~9月20日

㈱タクトコーポレーション	現金	10,000円
飯島孝枝	現金	2,240円
塩谷 圭	現金	1,000円
山田康博	現金	9,880円
大鹿静子	現金	5,000円
赤沼正清	現金	10,000円
折橋尚道	現金	10,000円
匿名	現金	5,000円
匿名	現金	100,000円
匿名	現金	6,000円
匿名	現金	24,000円
鷲宮ライオンズクラブ	現金	10,000円
徳島藍ライオンズクラブ	現金	20,000円
●白血病患者支援基金		
㈱天山	現金	21,241円
創作ダイニング 火と水と大地		
御殿場店	現金	2,910円
沼津店	現金	702円
つけ麺処 くっちゃん		
御殿場店	現金	3,659円
沼津店	現金	4,751円
小田原店	現金	4,041円
原宿店	現金	737円
環七通り店	現金	2,089円
めん処英喜家	現金	5,096円
㈱グルメシティ北海道万代店	現金	1,618円
稜北内科小児科クリニック	現金	17,012円
肉のプロショップNAKAGAWA	現金	2,759円
フジ北条店	現金	7,891円
㈱イースト	現金	9,632円
谷田彰義	現金	3,000円
匿名	現金	2,450円
匿名	現金	1,853円
会津テニス協会・ゼビオ㈱・丸善商事㈱	現金	50,000円
●佐藤さち子患者支援基金		
鎌ヶ谷青年会議所	現金	10,000円
中熊千香	現金	300,000円
佐藤奈々江	現金	10,000円
土肥敏朗	現金	10,000円

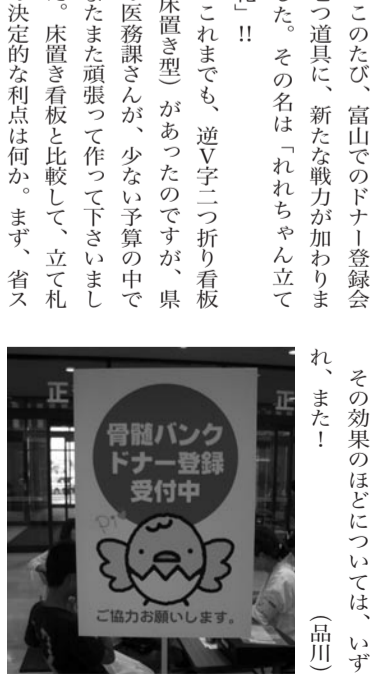
活動資金の援助をお願いします
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会



●10月の「骨髄バンク推進週間」
10月は「骨髄バンク推進週間」です。骨髄移植を待つ患者さんのため、国民の皆様へ骨髄移植に関する正しい知識を持っていただき、一人でも多くの方にドナー登録をしていただけるよう、関係者の協力を得て全国各地でドナー登録会等の骨髄バンク推進キャンペーン行事が行われます。
●関連情報
●厚生労働省の広報誌「厚生労働」の10月号に骨髄移植に関する記事が掲載されます。骨髄移植の必要性とともに骨髄バンク事業の推進が呼びかけられています。
●秋田テレビでは、骨髄バンクのスポットCMを制作・放映していただいておりますが、骨髄バンク推進週間の期間中(10月1日~31日)、以下の東京、千葉の大型ビジョンでも放映させていただきます。

●10月の「骨髄バンク推進週間」
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会

●10月の「骨髄バンク推進週間」
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会



●10月の「骨髄バンク推進週間」
銀行口座
三井住友銀行 新宿通支店
普通 5666655
郵便振替口座
00150-4-15754
特定非営利活動法人
全国骨髄バンク推進連絡協議会